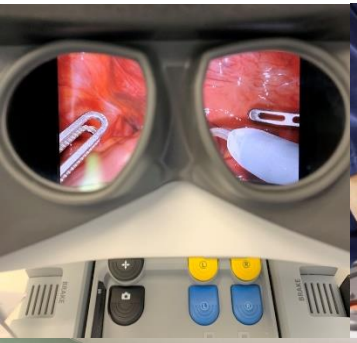
地方独立行政法人大阪府立病院機構

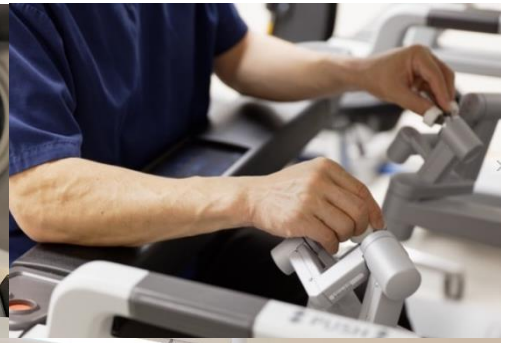
大阪急性期・総合医療センター

日本医療機能評価機構認定病院

２台目の手術支援ロボット“da Vinci Xi”を導入しました

【ロボット支援で より高精度で緻密な手術へ】





低侵襲ロボット支援手術（ダビンチ手術）は、安定した３D画像による立体視で、人間の手と比べ、より器用に、より広い動作範囲が得られることで、従来の腹腔鏡手術と比べ、より精緻で より低侵襲な手術を提供することができます。

大阪急性期･総合医療センターでは、2012(平成24)年6月からロボット支援手術を開始、2022(令和4)年6月末から2台目が稼働しております。